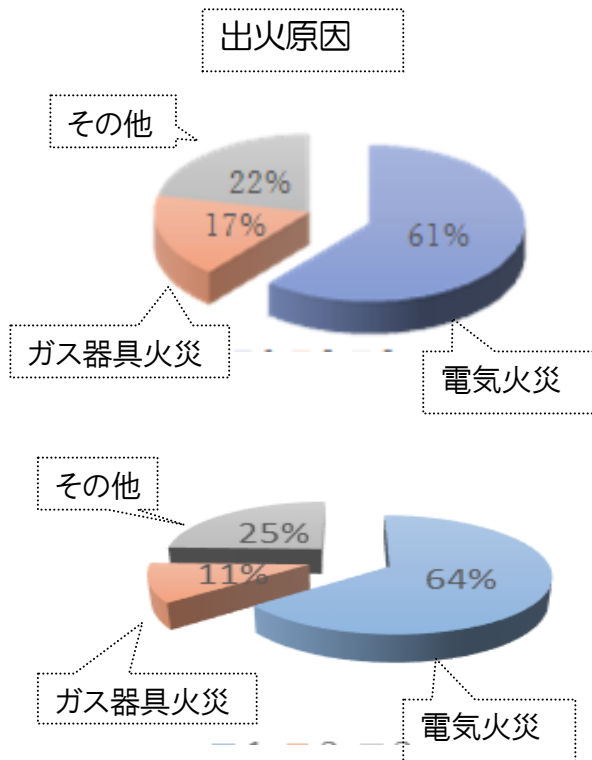


東日本大震災以降、日本の各地で噴火や地震が立て続けに発生しています。地震の際に最も怖いものの一つが火災の発生です。そこで、防災通信 No.27号では「通電火災」発生を抑制する感震ブレーカーについて記します。

☆ なぜ、感震ブレーカーが必要なのか？

地震による停電から復旧する際、電源が入った家電製品や落下物等で断線したケーブルに通電して、発生する火災を「通電火災」と呼びます。この「通電火災」の発生を抑制するために有効な手段の一つが感震ブレーカーです。

大規模地震火災時における火災発生の発生状況（産業構造審議会）



《阪神・淡路大震災》
→139件の火災のうち電気火災85件、61%
電気関係85件、ガス・器具24件、
その他30件

《東日本大震災》
→110件の火災のうち電気火災は71件、
64%
電気関係71件、工事設備12件、
その他27件

2017年3月に内閣府が『感震ブレーカーの設置を求める報告書』を発表しました。阪神・淡路大震災や東日本大震災での出火原因の半数は「電気が起因する火災」でした。そこで、地震の揺れを感知し、ブレーカーの電気を自動的に遮断する器具「感震ブレーカー」の導入を推進する発表がありました。

■主な感震ブレーカー種類（2014年10月12日朝日新聞資料）

| 種類 | 特徴 | 費用目安 |
|--------|-------------------------------|-----------|
| 分電盤型 | 遮断前の警報機能があり、施設や住宅の供給をまとめて遮断 | 工事費込み5~8万 |
| コンセント型 | 遮断したい場所に応じて設置できる。かべの中の出火は防げない | 5千~2万/1個 |
| 簡易型 | 簡単で安い地震以外の振動・衝撃でも作動する事がある | 3千~4千円 |

簡易タイプ感震ブレーカーの種類

- 1) ボールタイプ：地震の揺れで「おもり」（ボール）が置台から落下し、「おもり」の重力でブレーカーが落ちます。
震度は5～7に対応しています。
価格は3000円代
- 2) ヤモリタイプ：内閣府から2ツ星の評価（簡易タイプとしては日本初標準試験に合格）
9月24日の防災訓練日にヤモリタイプ（バネ式）を展示します。



ヤモリタイプの紹介

（取付け費及び購入受付について）

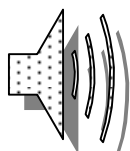
- 1) 高性能センサーが地震を感知します。
- 2) バネの力でバンドがブレーカーを落とします。
- 3) 感度はスイッチにより切替え出来ます。
電池は不要で全方位感震ブレーカーなので、
どの方向の揺れにも確実に対応します。
- 4) 価格は3,000円（税込）（ヤモリSV-SB1）
- 5) 取付け依頼の場合（費用は700円）
- 6) 購入受付は防災訓練時に集会所前で行います。

＝ 防災隊からの推奨 ＝

- ① 内閣府(防災)から唯一の2ツ星（簡易タイプで日本初）
- ② 工事は不要で誰でも簡単に取り付けができる強力な粘着テープ仕様
- ③ ブレーカー形状の違いがあっても、ほとんどのブレーカーに設置できる設計
- ④ 大規模地震時の電気火災発生抑制に関する検討会における感震ブレーカー性能評価ガイドラインで十分に評価されている（標準試験に合格）
メンバー：内閣府(防災)、総務省消防局、経済産業省、全国消防長会、東京消防庁

注意点：感震ブレーカーが作動すると停電になります。

停電になると、タイマー等電気製品の設定が狂うことが有ります。



《 お知らせ 》

秋の防災訓練：9月24日 10:00 スタート

・インターネットで防災隊の活動及び防災通信が閲覧できます。（下記に閲覧方法を紹介します）

- ① インターネットの検索欄に [ドリーム燦燦](#) と入力して検索し、[ドリーム燦燦](#) を見つけます。
- ② その[ドリーム燦燦](#) をクリックして開き、画面の右欄にある「全体グループ予定表」の下段にある「プラス地域活動団体」の最下部「[県ドリームハイツ防災隊トップ](#)」をクリックします。
- ③ 画面中左欄にある「防災隊メニュー」で防災組織他、防災隊の活動が分かります。
- ④ 「防災隊メニュー」の防災通信をクリックすれば防災通信が閲覧できます。

防災通信は防災ファイルに綴じておいて下さい